



大和中ロータリークラブ会報

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために
1980-81 R.I 会長 ロルフ・J. クラリッヒ

第 105 回 例会 55 年 7 月 24 日 (木) くもり 第 111 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
31 名	28 名	90.32%	90.32%
欠 席 者 木崎, 高山, 保田			

亀谷会長テーマ 全人類に愛と善意を

司 会 亀谷 志郎

ソングリーダー 中西 功君 「奉仕の理想」

時間 7.00 p.m より箱根湯本駅前「水明荘」で行います。会費は¥10,000 で当日徴集致します。旅館の予約がございますので出欠をとりますので宜しく。6.30 p.m までお集り下さい。
・地区年次大会の職業別並びに新入会員の研修会について次週詳細な内容につきまして発表し、出欠をとらせていただきます。

〔尚 109 号の幹事報告の中で職業別協議会の分類中、4.工業、建築部会、5.農水産食品部会、6.専門職、報道部会に御訂正下さい。お詫び申し上げます。〕

地区年次大会の案内 横浜 RC 広瀬久也氏

9 月 27、28 日本年度当地区年次大会を開催致します。場所は県民ホールです。ホストクラブは横浜 RC で、コホストクラブの横浜東、横浜西、神奈川、横浜磯子、横浜南、横浜中の各 RC の協力を得まして全員が心を合わせて着々と準備を進めて居ります。申し上げるまでもなく、地

本日のプログラム 7 月 31 日

世界社会奉仕について 地区委員長 岩宮 浩君

次週予定 8 月 7 日

箱根湯本「水明荘」にて例会

ゲ ス ト

伊藤茂直前ガバナー

斉藤隆寿第 6 分区代理

ビ ジ タ ー

広瀬久也君 (横浜), 高寿昌良君 (横浜田園), 菊地五十二君 (藤沢北), 名屋大二君, 甲斐田豊君 (綾瀬), 小栗孝司君, 藪内宏雄君, 田崎市松君, 村田幸大君, 矢口禎男君 (大和)

会 長 報 告

先日の例会で申しあげました地区年次大会の御案内が来ていますので重ねてお知らせ致します。

9 月 27 日、28 日の 2 日間で、28 日の職業別協議会の 6 つの部会に会員 2 名、新会員の研修会に 5 名の参加をお願いしたい。職業別協議会の職業別分類については幹事から後程きちんとした表が出されますので極力出席をお願い致します。

幹 事 報 告

・ 8 月 7 日 (木) は例会を臨時変更致します。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央 1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話 0462 (63) 7926

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分より
会長：亀谷 志郎 副会長：伊藤 正男
幹事：富沢 重徳 会報委員：有沢・長谷川・藤田

区大会は当地区のロータリアン、家族が一堂に会し、なごやかの中に知り合いを広め、友情と親睦を深める最良の機会と存じます。この大会はクラリッヒRI会長のテーマである「TAKE TIME TO SERVE」と加藤ガバナーの掲げた大会テーマ「HEART TO HEART」を皆様方の心にくみとっていただく最適の場所であると存じます。宜しく願いいたします。〔内容は案内書参照のこと〕

委員会報告

国際奉仕委員会 上田委員長

本日大和定住センターの見学を予定しておりましたが、御予定の方もあるかと思いますが、御一緒する前に定住センターの実態をより具体的に把握することが必要であろうと考え、とりあえず本日は会長、幹事、国際奉仕委員で行って参ります。後日これらの感触をふまえた上で、皆様の御協力を頂きたいと思えます。

職業分類委員会 上田委員長

職業分類のうち、亀谷会長の「診療所」は「内科病院」と訂正して下さい。

会員増強委員会 寺田委員長

本日の例会終了後、全員で各組のその後の情報について御報告をお聞きしたいと思えます。

親睦委員会 鈴木委員長

本日のお祝の方は4名です。

誕生日 郡司 守君（7月24日）

松本 忠明君（7月28日）

御夫人誕生日 北砂富三君安子夫人

（7月30日）

入会記念日 辻国明君（53年7月27日）

伊藤茂直前ガバナー挨拶

皆様の元気なお姿に接し大変懐しく存じます。ロータリーは人の上に人を作らず、人の下に人を作らずという平等の原則を基本理念として居ります。そう言う意味いから今日は一会員として御交誼をたまわりますようお願い申し上げます。亀谷会長、富沢幹事さんこの一年間大へん御苦労様で

ございます。御活躍を期待申し上げます。さて私はこの度当 259 地区ガバナーとしてその大任を無事終了させていただきましたことを御報告申し上げこの一年間に亘ります皆様の厚い友情とそして御支援御協力下さいましたことに対し衷心より厚く御礼申し上げます。既に地区全ロータリアンの期待を一身に集め加藤ガバナーの第一歩が踏み出されて居ります。歴史の歯車はロータリーの未来に向かって回転し始めたのでございます。奉仕の松明がいっそう輝きを増し新ガバナーに引きつかれて行くことを私は大変幸せに存じます。そして加藤新ガバナーの下でこの松明が行手に横たわる暗黒の世界を照し出し、このことがロータリアン各自の奉仕の活動原動力となりますことを願うものでございます。（伊藤前ガバナーの挨拶は昨年一年間の行事について、又ロータリー行事についての説明があり、更に今後のロータリーのあり方についてもお話しが多々ありましたが、紙面の都合で会報委員が割愛させていただきましたことを深くお詫び申し上げます。尚後日折を見て全文掲載を考えて居りますので御了承下さい。〕

卓話

第6分区代
齊藤隆寿氏

プログラム委員長の御依頼で何かお話しをせよ、と言うことで考えまして、第一私しの18番は、これは職業上税金の話しであります。2番は一応戦術の話し、其の次は青少年の問題、次が体育問題、次が防犯問題、このあと基とか俳句と続き、マージャンがあり、次の次ぐらいにロータリーと言うことになって居ります。したがってロータリーの話しは得意ではございませんので今日は2番目のテーマをとりあげさせていただきます。

とにかく皆さんは社長さん、経営者でございますので、統率者と言うことになります。

本日のテーマにこちつけますと経営の兵法とでも申しましょうか、したがって統率という言葉をよく聞かれることと思えますが、兵法が和式経営学と言っていくらか見直されて来ましたが、統率と言うことは私の考えでは、統御と指揮に別れます。統御と申しますのは指揮されようと言う気持を部

下に持たせることで、指揮とはその部下のエネルギーを目標に向かって集中思考させることで、これは軍隊用語であり、社長イコール統率者という風に認識いたしますと、其の統率の内容が統御と指揮とに別れます。経営は作戦でございますが、作戦というのはオペレーションと申しますが、目的達成のために能率的に組織活動を行うこれが作戦であります。これは洋の東西をとわない手段であります。そこで兵法ということが出てくる訳でございます。兵法と言えは先づ先輩の方々はいろいろなことを想い出されることと思いますが、その中で有名なのは「敵を知り我れを知れば決戦してあやふからず」と言うのを御存知だと思います。又他の兵法書に「上下欲を同じくするものは、必ず勝つ。」と言った言葉があります。これを今様に解釈しますと、経営者と従業員と共同、共通の利益を追求していけば、必ず経営は発展すると、この言うような意味になるわけであります。兵法の要点はこれは決心と情況判断であります。情況判断の方が先であり、決心が後に来ます。したがって状況の判断を行って決心をする、これが兵法の要点であります。先きに申し上げました、統率と言うのは兵法を実践する場合のことであり、適確な判断が当然必要になって来ます。

即ち、手元のプリントの統帥というのは経営上の参考にするためのものですが、統帥と言うのは軍隊の統率のことを統帥、帥とは軍隊のことです。統帥にもいろいろありますが、その最高者（トップ）は将帥で、最高の経営責任者と言うことが出来ます。将帥と申しますのは大体将官で師団長以上で、高級指揮官、それから下級指揮官と言うのがありますが、そのトップのことを将帥と申します。第一章に統帥のうちの将帥があげられています。「統帥の中心たり、原動力たるものは、実に将帥にして、古来、軍の勝敗はその軍隊よりも、むしろ将帥に負うところ大なり。戦勝は、将帥が勝利を信ずるに始まり、敗戦は、将帥が敗戦を自認するによりて生ず。故に、戦いに最後の判決を与うるものは、実に将帥にあり。」とありその責任を重要視しています。これは当然であり

まして、いろいろな戦に於いても情況が大して無いとき、トップを変更することによって、負けいくさを勝いくさにすると言うようなことが、応々にして行われる。アメリカ等では特にトップを変えることは簡単に行うこともご承知のことでしょう。一つは実力のある人であっても、トップの変更によって進歩的な人物が進出することによって全組織の人をふるいたさせるという効果もあるのではないかと思います。実に戦の勝敗は将帥の指揮権如何にかかっているわけです。

第2は「将帥の責務は、あらゆる状況を制して、戦勝を獲得するにあり。故に将帥に欠くべからざるものは、将帥たるの責任感と戦勝に対する信念にして、この責任感と信念とは、その人の性格と不断の研鑽修養とにより生ず。将帥の価値は、その責任感と信念との失われたる瞬間において消滅す。」とあり、トップの責任を最も重視しているわけでございます。そのためよく外見的にトップは孤独であるということが言われていますが、最終的な結論は自己の責任と信念によってトップが出すべきであります。第3には「将帥の具備すべき資性としては、堅確強烈なる意志及びその実行力を第一とし、至誠高邁なる品性、全責任を担当する勇氣、熟慮ある大胆、先見洞察の機眼、人を見る明識、他人より優越しありとの自信、非凡なる戦略的識見、卓越せる創造力、適切なる総合力を必要とす。」仲々むずかしいことを要求しております。要するにトップとしては全責任を負う勇氣が必要であります。どんな適切な命令を下し、どんな独断を犯かしても、その最後の責任は自分にあると言う、責任をとる態度が必要であります。とかく下級指揮官に責任を転嫁するトップも居ることは残念なことです。第4に「将帥は事務の圏外に立ち、超然として、つねに大勢の推移を達観し、心を策按と大局の指導に集中し、適時適切なる決心をなさざるべからず。これをなし得ると否とは実に将帥その人の自覚と信念に關す。将帥の決心を準備し、これを実行に移すための事務は幕僚以下の職務にして将帥は幕僚を信任して、その局に当らしむるを要す。将帥は、たえず軍隊志気

の消長を注視し、その作興に努むること肝要なり。」と言うことであり、将帥が場合には、細かいことを言っているようでは統帥たるべきではない、細かいことは部下にまかせて、大局の判断を常に見廻すことが必要であり、当然なことであり、第5に「将帥は部下の努力を最も有意義に運用し、徒勞に帰せしめざる責任を有す。最も重要な時機に、絶大なる努力を部下に要求せんがためには、平素なるべく部下の努力を愛惜使用するを要す。かくして始めて将帥の威望加わり、部下の信頼ますます増大すべし。」仲々むづかしい問題でありまして、一生懸命働いた部下の苦勞を徒勞に言うことが無いわけではありません。経営に当ってこれが特に重要であります。

第6に「将帥の真価は実に難局に際して發揮せらる。危急存亡のときに際会するや、部下は仰いでその将帥に注目す。将帥はあらゆる失望非運を制し、内に堅く信じて冷静明察を失わず、沈着剛毅、樂觀を装いて部下の囑望をつなぎ、その志気を作興して、最後の勝利を獲得することを努めざるべからず。」将帥が脱落して失敗してしまった顔を見せては部下は更に困ってしまうわけで、心からそう思っていれば、自然に型、表情、言語に現われるのですが、場合によっては反対に或は演出でも結構、それが必要な場合もあります。以上のことより先のことは幕僚の責任ですが、たとえば会長と幹事の場合ですが、会長を盛り立てて行くためのスタッフの心が次に述べている幕僚以下にかゝっているわけです。又次に作戰要務令というのがありまして、これは割合簡単な文章で指揮官としての指揮のとりかたについて解説しております。これを色々な経営又は団体の運営、委員会の運営等に利用されて、あやまるころはございませんが、只時代が変り、民主々義の世の中になって居りますからこのような内容を参考にされるのもよいことだと思います。大経営者の皆様を前にして大きなことを申しましたが、参考にさせていただければ幸いです。

スマイルボックス

相模原中RC 伊藤会員（直前ガバナー）昨年度は大変お世話様になりました。本年も何卒宜敷お願い申し上げます。

横浜RC 広瀬会員 本日地区大会の勧誘のご挨拶にうかがいました。

横浜田園RC 高寿会員 お世話になります。

藤沢北RC 菊地会員 分区代理斉藤先生のお話が拝聴出来ますので。

綾瀬RC 名屋会員 二度目の御邪魔を致します。

大和RC 小栗会員 皆様暑中御伺申し上げます。今期は始めてですが度々お世話になるかも知れませんが、よろしく。

大和RC 藪内会員 酷暑 皆様御健勝に。

大和RC 田崎会員 お世話になります。

大和RC 村田会員 お暑うございます。

蜂屋会員 辻会員いすゞの車をご購入有難うございました。御礼申し上げます。

鈴木会員 二回も例会を欠席しましてすみません腰痛もよくなりつつあります。

寺田会員 昨夕は長谷川さんのお宅でお世話になり、有難うご座居ました。

猪熊会員 大和名物阿波おどりが26.27日の2日間大和新橋通りで、夕方6時から始まりますので皆様でお出かけ下さい。

松本会員 会場へ来てから知りました。自分の誕生日を忘れるようでは。

北砂会員 7月は私と妻と同じ誕生日です便利な時と悪いときがあります。

郡司会員 丁度今日が誕生日で47才になりました。昔流では48才の抵抗という所です。